

e-mail: kubota@tsuruoka-nct.ac.jp



窪田 眞治

KUBOTA Shinji

総合科学科 教授

文学修士

◎所属学会：

日本独文学会，東北ドイツ文学会

◎専門分野：

ドイツ語，ドイツ文学

◎キーワード：

ドイツ語

今後取組みたいこと：

文学研究は実利のない虚学なので、シーズ・ニーズといった概念にはなじまないものです。ただ市場原理至上主義が行き詰まり，それに代わる有効な思考モデルが未だ見つけられないなかで，思考モデルを「物語」という言葉に置き換える事が可能な場合があるなら，物語論は考察の手助けになると思います。

文学作品に登場する聖俗循環, 同調圧, 終末思想研究

【シーズ紹介】

○19世紀及び20世紀のドイツ文学

○文学作品に現れる社会関係, 「世間」の研究

○M. Endeにおける終末思想, 聖俗循環

○ユートピア思想, 終末思想研究

1. 日本には欧米とは異なり，社会は存在せず，代わりにあるのは成文化されない掟に規定された「世間」であり，近代以降の欧米社会にはこの「世間」に相当するものはない，というのが昨今の通説となりつつある。しかし，19世紀ドイツ文学の作品中には「世間」と呼んで良いような社会関係が描写されていることがある。

2. 社会関係一般を媒介・規定するもののうち貨幣，言語，同調圧，聖俗循環を伴う社会構造，その他に着目し，人が自明のものとして意識せずに前提している思考形式，思考内容等を明らかにして行く。